

平成26年度 事業実施報告書

1

生産性向上・合理化推進事業 [公益事業1]

製造現場こそ付加価値の源泉であり、現場従事者一人ひとりの高い意欲と技能、変化への柔軟な適応力が日本の製造業を支えている。本事業では「ものづくりの現場力をいかに強化するか」を基調に、生産性の向上、品質・コストの改善において不可欠な実務知識や実践ノウハウを習得する場として、多様な切り口からセミナーや研修を開催した。

1-1 生産管理セミナー

概要	顧客ニーズや受注変動に柔軟に対応できる現場づくり、スピードとコストの両面で競争力を発揮することを目指して、生産管理に関わる幅広いテーマを取りあげた。	
実施内容	「生産計画と進捗管理」、「原価管理」、「外注加工品のQCD管理」、「在庫管理」など	
	開催件数	43回

1-2 品質管理セミナー

概要	品質の確保・向上に必須のQC手法や標準化といった管理技法。およびヒューマンエラー予防、不良品の再発防止策など、実務視点でのセミナーを開催した。	
実施内容	「工程での品質作り込み」、「検査業務の見直し」、「作業標準書の作成」など	
	開催件数	32回

1-3 現場改善セミナー

概要	あらゆるムダを排除し、コスト削減とリードタイム短縮を図る。職場の改善意識を高め、現場力に磨きをかけるための実践技法を様々な角度から取りあげた。	
実施内容	「5S実践」、「段取り改善」、「ムダ取り」、「レイアウト改善」、「見える化」など	
	開催件数	45回

1-4 工場管理実務研修

概要	製造企業の管理者層を対象にした中長期の研修コースを開催。現場改革の推進役、あるいは生産統括責任者に求められるスキルと知識を習得させた。	
実施内容	「工場長・製造部長能力開発」、「生産管理ベーシック」、「多品種少量生産効率化」など	
	開催件数	12コース

1-5 製造部門人材育成研修

概要	製造現場の監督者・リーダー層、あるいは若手社員のスキルとモチベーションを高めるため、実践力強化研修を開催した。	
実施内容	「製造監督者研修」、「多能工化推進」、「現場の部下指導」、「若手リーダー研修」など	
	開催件数	33回

グローバル競争を勝ち抜くためには、技術力の優位性をいかに高めるかが鍵となる。そのための課題は、技術革新や新製品開発にとどまらず、加工や制御などの現場技術あるいは匠の技、さらに省エネなどの環境技術といったように多岐にわたっている。本事業では、企業の技術力向上を目的として、設計・開発部門から図面をもとに製品・部品を形づくる加工技術の領域、円滑なものづくりを支える生産技術、および環境対応技術にいたるまで、全方位的にテーマを設定して研修を開催し、技術系人材の育成を図った。

2-1 工業技術セミナー

概要	ものづくりを支える現場技術や生産技術に携わる人材を育成するとともに、さらなるスキルアップを図るため、幅広い技術テーマを取りあげて研修を開催した。	
実施内容	「金属加工技術」、「材料技術」、「表面処理」、「電気・制御の基礎」など	
	開催件数	48回

2-2 環境技術セミナー

概要	環境負荷低減に役立つ新しい技術を理解し、活用するためのセミナーを開催。また、生産活動で注意すべき環境法令・規制への対応策も取りあげた。	
実施内容	「環境法規制対応」、「工場エアの省エネ」、「化学物質管理」など	
	開催件数	4回

2-3 設計実務研修

概要	生産の最上流工程である開発・設計は、コストや品質に大きく影響することから技術者の能力開発が欠かせない。また、共通言語としての図面は全員が身につけておくべき知識であるため、設計と製図をテーマに実務視点での研修を実施した。	
実施内容	「設計力強化研修」、「自動機設計」、「図面の読み方」、「設計見積り」など	
	開催件数	36回

2-4 技能開発訓練

概要	専門知識とともに技能が求められる技術分野については、実習を通して習得する場として、研修施設を持つ企業の協力を得て、実技訓練を行った。	
実施内容	「機械保全」、「からくり改善」、「油圧技術」、「塗装技術」など	
	開催件数	16回

2-5 大阪府工業技術大学講座		(後援/大阪府)
概要	若手・中堅技術者を対象とした長期夜間講座。機械系工学理論の基礎から応用技術までの習得、かつ高度な先端技術への理解を深めることを目的に、第54期として実施した。夜間の講義に加え、実習、見学研修をあわせて行い、企業の次代を担う技術者が身につけておくべき総合力を習得させた。	
実施内容	座学：「材料力学」、「機械製図」、「生産加工技術」、「機械計測」など27科目 実習：「NC旋盤」、「油空圧」、「溶接」、「製図」、「CAD」など7科目中2科目を選択受講 見学：ダイキン工業(株)、(株)西島製作所、(株)ジェイテクト、大阪機工(株)など10工場	
	開催期間	4月～平成27年3月

2-6 ものづくり技術者教育研修		
概要	ものづくりを円滑に行うためには、加工技術、設備技術、保全技術といった専門分野の充実・高度化が欠かせない。それぞれの分野を担う技術者を養成するため、スペシャリストとしてのスキルを磨く研修を実施した。	
実施内容	「切削加工技術者養成講座」 加工理論、工具、材料などの講義および加工実習・工場見学を行った。	
	開催期間	4月～9月
	「化学工場の現場管理研修」 安全管理、危険物の取り扱い、設備管理などの講義を行った。	
	開催期間	5月～8月
	「メカトロニクス技術者養成講座」 自動化設備の構築・保全をテーマに講義、実習、工場見学を行った。	
開催期間	9月～平成27年2月	

国内外の経営環境が依然として厳しいなかで企業が生き残りを図るためには、守りの戦術として財務面での経営基盤の強化や人事制度の整備を進める一方、攻めの戦術として営業力の強化やグローバル市場の開拓にもいっそうの注力が求められる。こうした観点から、本事業では、現下の難局に立ち向かう取り組みを後押しし、必要な知識・情報の提供と人材育成を支援するため、各種セミナー・研修を実施した。

3-1 経営管理セミナー

概要	各部門管理者や経営管理スタッフを対象に、経営上の実務的な課題について様々なテーマを設定し、課題解決と新しい方向性を示すセミナーを行った。	
実施内容	「管理会計実務講座」、「見積原価計算」、「キャッシュフロー経営」など	
	開催件数	18回

3-2 人事管理セミナー

概要	労働関係法令の理解、就業規則や人事考課、賃金、処遇など人事労務管理に関する多様な課題をテーマに、実務者を対象とした詳細なセミナーを開催した。	
実施内容	「労務リスク対策」、「人事考課」、「採用戦略」、「社会保険等の事務手続き」など	
	開催件数	27回

3-3 営業強化セミナー

概要	営業力の強化と営業活動の効率化を目的として、管理者から第一線営業社員までの階層別教育、および営業戦略や行動計画の立て方などの実務セミナーを行った。	
実施内容	「営業力強化講座」、「交渉力強化」、「技術営業」、「販促ツール作成」など	
	開催件数	24回

3-4 国際経営セミナー

概要	グローバル経営に対応できるスタッフを養成するため、貿易にかかる各種手続き、海外調達、海外赴任者の処遇などの実務課題を取りあげ、セミナーを開催した。	
実施内容	「貿易実務講座」、「海外調達」、「海外勤務社員の保険と税務」、「ビジネス英語」など	
	開催件数	7回

3-5 経営管理実務研修

概要	変化の時代に対応する経営組織の改革や経営管理機能の充実を目的として、マネジメント部門の実務スタッフを対象に、中長期の研修コースを開催した。	
実施内容	「総務人事部門の部課長研修」、「総務担当者スキルアップ」、「原価計算実務」	
	開催件数	3コース

3-6 職務別能力開発研修	
概要	若手から中堅層を対象に、日常業務を全うするための基本事項を再確認し、さらなるステップアップを促すことを目的とした実践研修を展開した。
実施内容	「初めて学ぶ経理」、「総務担当者の基礎」、「報・連・相」、「コミュニケーション」など
	開催件数 13回

3-7 階層別能力開発研修	
概要	経営目標の達成に向け、各自の責任・役割に対する自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を再確認する研修を行った。
実施内容	「部長研修」、「課長研修」、「係長研修」、「主任研修」など
	開催件数 17回

3-8 内部監査員教育研修	
概要	国際標準に基づく品質保証体制、ならびに環境管理活動の中核を担う内部監査員を養成するため、ISO規格の解説から模擬監査までを行う研修を開催した。
実施内容	「ISO9001内部品質監査員養成コース」、「ISO14001内部環境監査員養成コース」
	開催件数 14回

異業種の企業が集う協会ならではの特性を活かし、企業間の相互交流と多方面からの情報収集を促進する本事業は、人材育成と並ぶ協会事業の大きな柱である。

昨今、市場のグローバル化や新興国の急激な追い上げを背景に、いずれの企業においても国際競争を意識せざるを得ない状況にある。また、技術革新や新製品開発などによりビジネス環境は目まぐるしいスピードで変貌しつつある。こうした状況に立ち向かうために、新しい視点や柔軟な発想を持ち、従来の垣根を越えた幅広い領域から知恵と情報を集めることを目的として、テーマを絞った研究会を複数設定し開催した。

4-1 工場経営研究会

概要	経営幹部・製造責任者が工場運営の舵取りを行う上で不可欠な、実務知識とノウハウを体系的に学ぶことを目的とした研究会。参加者同士のディスカッションや情報交換により相互研鑽を促し、工場運営を全般にわたって統括・マネジメントできる人材の養成を図った。
実施内容	「工場の経営戦略」、「事業計画の立案」、「製販一体化」、「資材・購買戦略」、「省エネ」、「技能伝承」、「工場内物流」、「品質管理と標準化」、「コンプライアンス」、「環境問題への対応」などをテーマに定例研究会を開催した。
	開催期間 4月～平成27年3月

4-2 知的財産研究会

(後援/近畿経済産業局、大阪府)

概要	新しい技術や付加価値の高い製品を知的財産権で守り、他の追随を許さない戦略が生き残りの鍵を握る。本研究会では知的財産を企業戦略の重要な柱と位置づけ、積極的に創造、保護、活用していくための方策をともに学び、考える場として実施した。(大阪工業大学知的財産学部との連携による共同開催)
実施内容	「事業経営と知財戦略の企業事例」、「モノづくりにおける知財マネジメント」、「知財のファイナンス的評価」、「特許権制限の新たな潮流」、「欧州における知財訴訟・判例」、「知財を取り巻く国際環境」、「新しい商標制度」などをテーマに定例研究会を開催した。
	開催期間 5月～平成27年3月

4-3 事業承継対策研究会

概要	中堅・中小企業の経営者および経営後継者を対象とし、事業承継にまつわる諸問題の克服を目的とした研究会。事業承継に関して押さえておくべき法律・税制面の知識、人事・労務面での備え、また、ケーススタディとして事業承継の成功・失敗事例とその要因分析など、多彩なプログラムで開催した。
実施内容	「自社環境の認識」、「売れる仕組みと営業戦略」、「会議の生産性向上」、「会計数値の活かし方」、「キャッシュフロー経営と資金繰り」、「組織・人事管理の要諦」、「人材育成」などの実務課題を取りあげ、定例研究会を開催した。
	開催期間 10月～平成27年3月

4-4 海外事業戦略研究会	
概要	海外への事業展開と一口に言っても、海外での工場設立、海外メーカーへの生産委託、海外からの部材調達、海外市場への販路開拓など様々な態様があり、相手国によっても事情は異なる。ゲストスピーカーからの情報提供を基に、中小企業が海外進出で成功するための留意点を掘り下げて考える研究会とした。
実施内容	「海外進出計画・事業提携計画の立て方」、「海外販路開拓と与信管理」、「現地取引先の技術力・信用力調査」、「海外勤務者、ローカル社員の給与と労務管理」、「海外進出におけるトラブル事例」などの実務課題を取りあげ、定例研究会を開催した。
	開催期間 8月～平成27年3月

4-5 経営革新とマネジメント研究会	
概要	生き残りをかけた経営革新への挑戦、変化の時代に即したマネジメントのあり方を追求する研究会。経営幹部も管理部門スタッフも、各々の立場で実務知識を蓄えつつ、事例研究や意見交換により運用面での具体策を考える場として開催した。
実施内容	「経理実務担当者の能力開発」 税務処理、債権回収、株主総会運営、税務調査対応などのテーマで実施した。
	開催期間 4月～8月
	「人事労務管理研究会」 労働時間管理、賃金制度、人材採用、人事考課制度などのテーマで実施した。
	開催期間 10月～平成27年3月
	「経営と経理研究会」 経営計画、予算管理、資金繰り改善、事業承継などのテーマで実施した。
開催期間 11月～平成27年3月	

4-6 省エネルギー対策研究会		(後援/近畿経済産業局、大阪府)
概要	社会的要請としての節電対応およびオペレーションコスト低減のため、省エネルギーは各社共通の課題である。本研究会では、どこに省エネの余地があるのか、どんな改善方法があるのかを検討し、今後の省エネへの取り組み方を探求した。	
実施内容	「最新のエネルギー監視技術」、「インバータの活用」、「空気圧縮機の省エネ」、「ヒートポンプ活用」、「廃熱回収」など、生産活動に関わる具体的な省エネ策を取りあげた。	
	開催期間 5月～平成27年1月	

4-7 3Dプリンタ実践導入研究会	
概要	3次元CADのデータを入力すれば、あたかもプリンタで紙に印刷するかのよう、寸分違わぬ立体モデルが出力されるという3Dプリンタ。その可能性を探り、これからの導入・活用方法を考えるため、情報収集の場を設けた。
実施内容	「製品開発への3Dプリンタ活用事例」、「医療分野での活用事例」、「金属光造形技術」、「周辺機器」などのテーマを設け、最新情報を収集すべく研究会を開催した。
	開催期間 6月～10月

4-8 機械加工技術研究会	
概要	機械加工分野の技術は、超精密加工、高速化、省エネ性などと時代の要請にあわせて進化を続けており、先端技術を取り入れることが企業の競争力を高めることに直結する。加工技術と工作機械にまつわる最新の情報を得るため、機械メーカーの見学、先進事例を紹介する講演会などを実施した。
実施内容	工作機械および工具メーカーからゲストスピーカーを招いて、「工作機械の最新技術」、「超精密切削」などの講演を5回、工場見学を3回実施した。
	開催期間 5月～10月

4-9 新産業と経営革新研究会	
概要	新たな市場領域やビジネスチャンスの獲得、技術力や独自ノウハウを活かした新規事業の創出、あるいは経営革新で生き残りを図るため、情報収集を目的とした研究会を開催した。
実施内容	「航空機産業研究会」 世界的に需要増が見込まれている航空機産業に、今後市場参入しようとする中小企業に対し、業界動向や供給体制、要求水準などについて情報提供を行った。 川崎重工業(株)、新明和工業(株)、住友精密工業(株)などからゲストスピーカーを招聘。
	開催期間 7月～平成27年2月
	「次世代自動車テクノロジー研究会」 中小企業の経営者が、技術革新の著しい自動車分野の最新情報に触れることで、今後の事業展開の参考となるよう、車輛技術をはじめ様々な情報提供を行った。 (株)デンソー、本田技研工業(株)、マツダ(株)などからゲストスピーカーを招聘。
	開催期間 10月～平成27年3月
実施内容	「ものづくり経営研究会」 独自技術や優れた商品で競争力を発揮する中小企業、ユニークなものづくりの現場を訪問し、経営者とのディスカッションによりその強さの秘訣を学んだ。 安福ゴム工業(株)、(株)T. H. Q. 製作所、第一実業ビスウィル(株)など10社を訪問。
	開催期間 平成27年1月～3月

5

経営支援・会員交流推進事業 [その他事業]

協会の大きな特色は、規模や業種の異なる多様な事業所を擁する会員組織にある。

本事業では、会員相互の有機的な連携と協調を促進することを目的として、情報発信および会員交流の支援、そして個々の事業所の経営相談や社内教育の支援などにも積極的に取り組んできた。

5-1 機関誌「商工振興」の刊行

(大阪府商工労働部監修)

概要・ 実施内容	月刊の機関誌として全会員に配付。講演録や見学記など協会事業の実施報告とあわせ、会員企業の取材や経営者へのインタビューによる会員紹介記事を掲載。そのほか、大阪府による各種支援施策周知のため、MOBIO（モビオ:ものづくりビジネスセンター大阪）や大阪府立産業技術総合研究所から発信される情報の広報ページを設けた。また、今年度は協会創立65周年を記念して「わが社の社是・社訓」を連載し、これを一冊にまとめて創立記念式典で配付した。
-------------	--

5-2 経営指導と情報提供

概要・ 実施内容	会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行ったほか、社内研修の要望に対しては、講師派遣などにより対応した。	
	社内研修の支援（講師派遣）	6事業所に対し、計8回実施
	会員事業所を対象に参加費無料の講演会を開催。タイムリーなテーマを取りあげ、新しい情報を発信した。	
	開催件数	4回
	従業員の自己啓発を促すため、通信教育講座を開催した。	
	開催件数	226コース

5-3 異業種交流&産学公連携の推進と展開

概要・ 実施内容	「産学公連携による製品開発事例発表会」 これからの新製品開発や技術課題の克服に資するため、産学公連携の活用方法を紹介するセミナーを開催した。 大阪府立大学、大阪府立産業技術総合研究所から連携成果を紹介。	
	開催日	平成26年8月25日
	「トヨタ自動車㈱・トヨタグループ向け展示商談会」 トヨタ自動車㈱調達本部の協力を得て、在阪企業のものづくり技術を直接アピールする場として開催。新たな受注開拓に向けて、車両および自動車生産に関する新技術・新工法を提案し、活発な商談が行われた。	
	平成27年3月5日、6日の2日間、トヨタ自動車㈱本社 サプライヤーズセンターで開催。	

5-4 新入社員教育講座

概要	新入社員に職業人としての自覚を促し、仕事に取り組む心構えと基本常識を習得させるため、総合基礎教育のほか配属部門ごとの導入教育やビジネスマナー研修を開催した。今年度はさらに拡充し、機械・樹脂・食品など業界ごとに区分した研修、および組織における規律や礼節を身につけさせる合宿研修も実施。幅広いニーズに対応した。	
実施内容	「総合基礎教育」、「生産実務」、「営業基礎」、「技術系基礎」、「ビジネスマナー」、「材料の知識」、「加工の知識」、「図面の読み方」、「品質管理」、「禅寺合宿研修」など	
	開催件数	20回

5-5 経営者経営交流会

概要	経営トップがこれからの戦略を考え、進むべき方向を見出す研鑽の場、および異業種企業との相互交流の機会として「経営セミナー」を開催した。	
実施内容	「秋期経営セミナー」、「春期経営セミナー」	
	開催件数	2回

5-6 経営マネジメントスクール

概要	中堅・中小企業の若手管理者、管理職候補者を対象に、企業におけるマネジメントの原理・原則を学ぶ場として開催。業界や事業内容、担当部門に関わらず共通して求められる戦略的思考や分析能力、あるいは計画立案力、問題解決力、チームオペレーションといった、管理者としての本質的なスキルを高めることを目的に、多様なテーマを取りあげた。	
実施内容	「ロジカルシンキング」、「グローバルマネジメント」、「ファシリテーション」、「マーケティング戦略」、「生産・調達マネジメント」、「目標管理」、「コンプライアンス」などのテーマで開催。	
	開催期間	7月～平成27年2月

5-7 新技術研究会

概要	技術革新・生産革新に挑戦し、進化し続ける工場を訪問。その優れた現場の知恵とノウハウを学び、改善のヒントをつかむ研究会。日本で勝ち残る「強い工場」はまだまだ多く存在しており、いずれも他の追随を許さない独自技術や製品開発力を有し、優れた生産技術力あるいは固有の生産システムに磨きをかけている。こうしたメーカーの実際のものづくり現場の見学と技術者によるレクチャーを行うことで、自社の経営、工場運営に役立つ情報を吸収する研究会を開催した。	
実施内容	定例研究会：(株)クボタ、ナブテスコ(株)、(株)日立建機ティエラなど12社を訪問 特別研究会：UDトラックス(株)、トヨタ紡織滋賀(株)を訪問	
	開催期間	4月～平成27年3月

5-8 施設と工場見学研修	
概要	普段は見るできない他社、および異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者や技術者の情報収集ニーズに応えた。
実施内容	「物流・ロジスティクス実地見学会」（物流現場のオペレーションの改善事例を学ぶ） 「優れたものづくりの中堅企業見学会」（ニッチな分野で強みを発揮する工場を訪問） 「優秀工場見学会」（国内各地に点在する優秀工場を訪問）などを実施した。
	開催件数 20回

5-9 海外産業視察研修	
概要	グローバル経営に対応するための情報収集の機会として実施。日本の製造企業が進出しているアジアの新興国、市場として有望な欧米諸国を実際に訪問した。
実施内容	マレーシア、タイ、ドイツ、アメリカ、フィリピン、インドネシアを訪問。自動車、電機、産業機械などの工場を訪問し、生産現場の見学を行うとともに、現地駐在者から経営上あるいは工場運営上の課題、市場動向、インフラ整備状況などについて説明を受けた。
	開催件数 7回

5-10 優良従業員表彰	
概要	会員事業所における労使関係の安定と従業員の勤労意欲増進を図るため、長年にわたり職務に精励し、他の模範となる従業員として事業主から推薦を受けた者を選考し、表彰を行った。
実施内容	平成26年度 優良従業員表彰式および祝賀会
	開催日 平成26年11月19日

5-11 会員交流と懇親会	
概要	会員企業経営者・事業主の相互理解と親睦を深めるため交流・懇親の場を設けた。
実施内容	「井上会長杯ゴルフコンペ」「創立65周年記念ゴルフコンペ」
	「平成27年新春年賀交歓会」

5-12 会員名簿刊行	
概要・実施内容	会員の相互交流に資するため、事業所の現況調査を行い、会員名簿を刊行した。 (10月10日付刊行)

5-13 創立65周年記念式典並びに講演会、祝賀会	
概要・実施内容	協会創立65周年を祝し、記念式典並びに講演会、祝賀会を開催した。これを契機に65年間の歩みを振り返って設立の趣旨をあらためて想起するとともに、今後の飛躍に向けて決意を新たにした。
	開催日 平成26年11月25日